

別添①

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	
------	--

(I) 労働時間 ※別添②に入力のうえ記載すること		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		5 点
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(II) 生産活動
令和3年度の報酬の取扱いとして、前年度を「令和元年度」に置き換えた実績で評価することを可
(その場合、前々年度は「平成30年度」を用いる。)とする。

(III) 多様な働き方(※)		15 点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計(注1)		5

(III) 多様な働き方
令和3年度の報酬の取扱いにおいては「令和2年度」の実績で評価。

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(IV) 支援力向上(※)		35 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上半数未満であった		
参加した職員が半数以上であった	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回の場合		
2回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回の場合		
2回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計(注2)		8

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合:10点		

(IV) 支援力向上
令和3年度の報酬の取扱いにおいては「令和2年度」の実績で評価。

(V) 地域連携活動
令和3年度の報酬の取扱いにおいては「令和2年度」の実績で評価。

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点		25点		40点		5
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		15
支援力向上	0点		15点		25点		35点		35
地域連携活動	0点				10点				10

合計	
105	点 / 200点

～留意事項通知抜粋～
新規指定の就労継続支援A型事業所等の就労継続支援A型サービス費の区分について
報酬告示第13の1の注3の2については、新規指定の就労継続支援A型事業所において初年度は、評価点が80点以上105点未満の場合であるとみなし、基本報酬を算定し、年度途中に指定された事業所については、初年度及び2年度目は、評価点が80点以上105点未満の場合であるとみなして、基本報酬を算定する。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績 I～IV）

(I) 労働時間

前年度（令和2年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	16,922.5	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,096	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.1	時間
-----------------------------	----------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

(II) 生産活動

会計期間（平成31年4月～令和2年3月）

前々年度（令和元年度）

生産活動収入から経費を除いた額	3,160,530	円	利用者に支払った賃金総額	13,686,674	円	収支	▲ 10,526,144	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

前年度（令和年度）

生産活動収入から経費を除いた額		円	利用者に支払った賃金総額		円	収支	0	円
-----------------	--	---	--------------	--	---	----	---	---

(III) 多様な働き方

前年度（年度）における実績（全体表「(III)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を活用した人数 名

※取得を進めた免許等：

制度の活用内容：

②利用者を職員として登用する制度

②職員として登用した人数 名

◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している

◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している

※登用した日 年 月 日

勤務形態：

就業時間： 時 分～ 時 分

職務内容：

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③在宅勤務を行った人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（在宅勤務）： 9時00分～14時00分

職務内容： 内職（種の選別、ラベル張り等）

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制を活用した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（コアタイム）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に従事した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（短時間）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度を活用した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（早出の場合）： 時 分～ 時 分

就業時間（遅出の場合）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数 名

◎計画的付与制度を活用した人数 名

※取得した制度 有給休暇の時間単位取得

計画的付与制度

取得した期間： 月 日～ 月 日

取得日数・時間 日 時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数 名

※取得した内容：

取得した期間： 月 日～ 月 日

就業時間： 時 分～ 時 分

職務内容：

(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度（令和2年度）における実績（全体表「(IV)支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

◎研修実施回数 外部 2回/内部 回

対象職員数 3人

うち研修受講者数 3人

※研修名 ものづくりの発想原点から生み出す商品づくり

研修講師 アドブレイン代表 小境孔勝氏

実施日・受講者数 2月 5日 3人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 2回

※研修、学会等名 就労継続支援A型事業所の活動発表

実施日 5月 22日

※学会誌等名

掲載日 月 日

発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している

◎他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名

実施日/参加者数 月 日 人

※他の事業所名 兼弥産業株式会社

実施日/参加者数 8月 5日 3人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数 2回

※商談会等名 地域の美味しいもの発掘商談会

主催者名 岐阜養火会

日時 6月 16日

内容 県内における地域特性を生かした農産物・加工品を紹介する機会

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

◎当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 年 月 日

人事評価制度の対象職員数 名

うち昇給・昇格を行った者 名

当該人事評価制度の周知方法

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している

※配置期間 月 日～ 月 日

就業時間

職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日 月 日

規格等の内容

(※)実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社LSエンジニアック
住所	岐阜市藪田南 1 丁目 11 番 9 号 第 2 岐阜県ビル 2F
電話番号	058-277-5115

事業所番号	2110101355
管理者名	小坂井 雅次
対象年度	令和 2 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：【施設外就労先】株式会社LSふぁーむ（瑞穂市宝江）</p> <p>実施日程：通年</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要：水耕栽培（ハウス）・田んぼ・地域圃場</p> <p>利用者数：常時10～18人</p>	<p><活動の様子></p> <p>活動の様子の写真</p>  <p>作業風景</p>  <p>圃場：ニンニク収穫</p>  <p>圃場：種まき</p>  <p>玄米：袋づめ</p> 
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい：</p> <p>農福連携により、障害のある人などが農業分野で活躍することにより自信や生きがいをもって社会参画することができ、それらを取り組むことで就労や安定した生活の場を生み出すことができる。</p> <p>地域にとってのメリット：</p> <p>障害のある方への理解、見守り、関心等、及び地域圃場の活性化が見込まれる。</p> <p>対象者にとってのメリット：</p> <p>農業を通し、作物（自然）と触れ合いながら就労をすることができる。また、地域の方々とその場限りの出会いだけでなく、日頃からコミュニケーションを図ることで関わり方を学び、社会参画できる。</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果：</p> <p>作業内容が多種にわたり、対象者の能力等を加味し適材適所な作業役割をすることで意欲的に就労することができている。また、職員との関わりだけでなく、他者（施設外就労先職員、地域の方々、来訪者等）との交流・接点が図られている。</p> <p>得られた成果：</p> <p>対象者にとっては、生育・栽培・収穫等食物への関心が高まり、責任をもって作業に取り組む姿がみられる。また、他者との関わりから謝意を表すことも学ぶことができた。</p> <p>地域の方々にも、関心・理解を示していただけるようになり、ねぎらいの言葉をいただくこともある。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>依頼した作業内容を利用者の適正に合わせて振り分けしていただけるため、スムーズに作業が行えている。夏場の暑い中での圃場作業や冬場の寒い中での活動など、作業環境が複雑な中でもよくやっていただいている印象で助かっている。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>作業予定の確認、利用者の情報など正確な情報交換が必要とされるため、もっとコミュニケーションを増やしていくことが大切であると考えている。定期的なミーティングなどでそのような場を作っていくと良い。</p>
--

連携先企業名	農業生産法人 株式会社LSふぁーむ	担当者名	山下 智大
--------	-------------------	------	-------